

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 4-6

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武斎場火葬管理等業務委託			
評価者	担当課・係名	住民生活課・環境衛生係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤 直人	職名
				氏名
				係長
				氏名
				内藤 肇昭
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>火葬認可に伴う、火葬業務の執行、斎場施設の維持管理及び墓地・墓苑内の草刈及び清掃といった周辺環境の維持を業務内容とし、民間業者に委託。</li> </ul>			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	15	環境の保全	
	単 位 施 策	3	景観形成・環境美化・公害防止の推進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	雄武町火葬場の設置及び管理に関する条例		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総 事 業 費	1,334千円	1,330千円	1,310千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	1,334千円	1,330千円	1,310千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	斎場利用者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	施設の老朽化等により、施設の修繕の増加が考えられる。		業務の適切な執行及び施設の適切な維持管理								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	町民の斎場使用に対して、全て応えるため、施設を適正に管理運営する。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	専属従事者による火葬業務の遂行により、利用者へのサービスが確保されるとともに、民間委託により経費の削減を図る。		①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①民間企業への業務委託	委託料算定の基礎となる火葬件数を、直近5ヵ年実績の平均値とし、人件費は道の労務単価を使用し、積算することにより民間委託前より経費の削減が図られている。										
②											
③											

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	公衆衛生上、必要な施設であり、火葬場の経営は墓地埋葬法上、永続性・非営利性が求められ、原則市町村がすべきとされている。なお、業務の民間委託は経費の削減となります。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	適切な業務の執行及び事業費の抑制が行われている。
有効／概ね有効／課題あり		

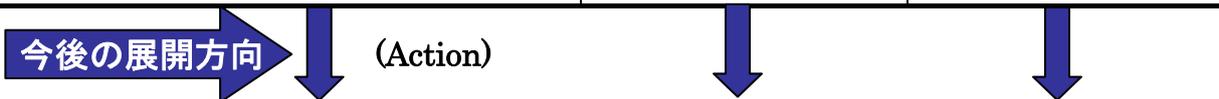
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	民間委託により、人員及び事業費の抑制が行われている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当     
  B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要     
  D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
火葬場は公衆衛生上、地域社会において、不可欠な施設であり、業務の民間委託は、事業費の抑制のため必要と考えることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



<b>継続/現状維持</b>		
委託先の火葬従事者においては、平成10年度の民間委託からの永年の従事経験による専門的知識を有し、利用者に対するサービスの向上、また、後継従事者の育成を含め複数人での従事体制も確立しつつあり、迅速かつ効率的な業務を遂行できるものであり、今後も現状維持が適当である。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
 終了     
 休止     
 廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 4-7

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武斎場火葬炉施設修繕			
評価者	担当課・係名	住民生活課・環境衛生係		
	課長等	職名	係長	作成者
		氏名	佐藤 直人	氏名
				内藤 肇昭
事業の概要	雄武斎場 ・1号炉主燃焼室セラミック耐火物張替修繕 ・共通煙道1号炉側天井耐火物張替え修繕			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業
	政策目標			
	基本政策			
	単位施策			
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	0千円	1,691千円	1,800千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	0千円	1,691千円	1,800千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	火葬場利用者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題や二一ズは】	修繕の遅れにより、施設の利用ができなくなるおそれがある。		施設の適正な維持管理	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	利用者の利便性の向上及び安全かつ正確な業務の遂行。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	利用者の必要性に対応できる。		①	目標年度 目標値 実績値 達成度 年度 %
		②	目標年度 目標値 実績値 達成度 年度 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)				
①火葬炉の修繕	火葬炉の劣化等の早期発見により、適切な時期に修繕を行い、施設を正しく維持管理する。			
②				
③				

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	火葬場は公衆衛生上、地域社会において、不可欠な施設であり、現在、町営斎場は1斎場で火葬炉は2基のため利用者の利便性を確保するため、適宜の修繕は必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	当該事業を実施したことにより、施設の適切な維持管理ができています。
有効／概ね有効／課題あり		

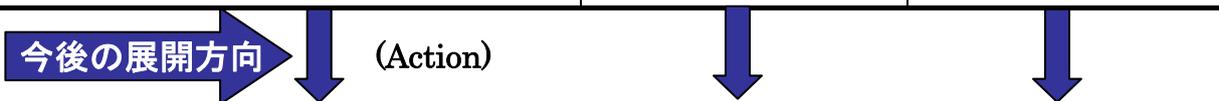
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	適切な時期の施設の修繕により、安全かつ正確な業務の遂行と利用者の利便性向上を図ることができる。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
火葬場は公衆衛生上、地域社会において、不可欠な施設であり、適宜の修繕は利用者の利便性を確保するため、必要と判断する。		



<b>継続/現状維持</b>		
適切な時期の施設の修繕により、安全かつ正確な業務の遂行と利用者の利便性向上を図ることができるため、現状維持が適当である。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

※本事業は、平成18年度の保守点検の際に劣化により、早期修繕を要する旨指摘を受けたものの修繕。
---

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 4-8

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武斎場施設施設修繕			
評価者	担当課・係名	住民生活課・環境衛生係		
	課長等	職名	係長	作成者
		氏名	佐藤 直人	氏名
				内藤 肇昭
事業の概要	斎場の集塵気室建具（アルミ製ドア）が腐食による劣化が著しいため、強化プラスチックを貼付し補強する修繕。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業	<input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業	
	政策目標			
	基本政策			
	単位施策			
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	0千円	494千円	0千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	0千円	494千円	0千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	斎場	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	放置しておくドア自体の落下も懸念される。		施設の適正な維持管理								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	適正な施設維持管理		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	斎場施設の延命化		①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①斎場修理	斎場集塵機室建具(アルミ製ドア)の腐食が激しかったため、ドアの取替えよりも安価で延命化が望める強化プラスチックの貼付補強。										
②											
③											

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	火葬場は公衆衛生上、地域社会において、不可欠な施設であり、適宜の修繕は必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	当該事業を実施したことにより、施設の適切な維持管理ができています。
有効／概ね有効／課題あり		

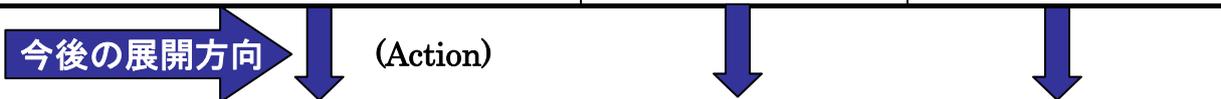
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	当初は、シャッターへの取替えを想定していたが、より安価で延命化が望める改修方法を行うことにより、コストの削減を図っている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当     
  B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要     
  D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
火葬場は公衆衛生上、地域社会において、不可欠な施設であり、適宜の修繕は利用者の利便性を確保するためにも、必要と判断する。		



<b>終了</b>		
当初の目的を達成したため。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
  終了     
  休止     
  廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 4-9

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	リサイクル推進事業			
評価者	担当課・係名	住民生活課・環境衛生係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤 直人	氏名
				係長
				氏名
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ指定袋（収入証紙付）の作製</li> <li>売捌き手数料の支出</li> </ul>			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	15	環境の保全	
	単 位 施 策	4	ごみ・し尿処理の推進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	一般廃棄物処理基本計画、廃棄物処理法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	3,186千円	6,518千円	5,900千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	0千円	4,301千円	2,819千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民（一般家庭）	指標／目標	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	最終処分場の延命化		1人1日当たり排出ごみ745g、リサイクル率32.8%（家庭系ごみ）		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	ごみの減量化、費用負担の公平化		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	新たな経費負担（廃棄物処分場の建設）が回避できる。		①年間総収集量÷365÷収集人口 ／1人1日当たり排出ごみ	目標年度	19年度
			目標値	745g	
			実績値	790g	
			達成度	94.3%	
			目標年度	19年度	
		②資源物の重量÷総廃棄物の重量 ／リサイクル率	目標値	32.8%	
			実績値	23.0%	
			達成度	70.1%	
内 容（どのような手段で何を行ったか）					
①ごみ指定袋の有料化	指定袋の有料化により、町民のごみの減量化意識の定着、資源ごみのリサイクル化を行なった。				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	指定袋による有料化が住民に浸透し、ごみの軽減化が図られており、最終処分場の延命化により、新たな経費負担が回避できる。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	リサイクル率は、まだ低いですが1人1日当たりの排出量は目標に近づいており、指定袋による有料化が住民に浸透し、ごみの減量化、リサイクル化が進んでいる。
有効／概ね有効／課題あり		

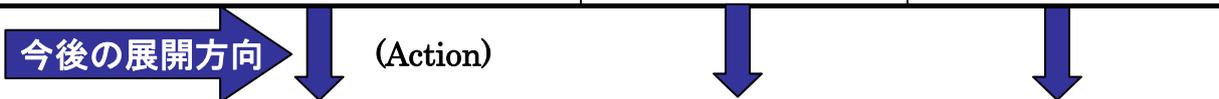
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	指定袋による有料化が住民に浸透し、ごみの減量化・リサイクル化が図られており、手数料は廃棄物処理財源に充てるなどコストに見合った効果が得られている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
最終処分場の延命化を図り、新たな経費負担の回避のため、今後もごみの減量化、資源ごみの分別が必要であり、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



<b>継続/現状維持</b>		
今後も指定袋を活用したごみ収集を通して、ごみの減量化、リサイクル啓発を行うため、継続実施が必要な事業と判断する。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 4-10

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	一般廃棄物収集運搬業務等委託事業			
評価者	担当課・係名	住民生活課・環境衛生係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤 直人	氏名
				係長
				氏名
事業の概要	町の定めた一般廃棄物処理基本計画に基づき、雄武町全域の家庭系ごみの収集運搬業務、紋別市リサイクルセンターへの資源ごみの搬入、処理施設の管理業務及び臨時的収集を業務内容とし、民間業者に委託。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	15	環境の保全	
	単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	一般廃棄物処理基本計画、廃棄物処理法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	35,988千円	35,758千円	35,850千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	29,831千円	24,758千円	28,147千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民が排出するごみ	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	各家庭から出されるごみの適正な収集運搬及びコスト削減。		適切な収集及び施設の管理維持	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	住民サービスの向上。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町内の環境・公衆衛生維持のため、迅速かつ効率的な収集及びコスト削減。		①	目標年度 目標値 実績値 達成度 年度 %
		②	目標年度 目標値 実績値 達成度 年度 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)				
①民間企業への業務委託	民間委託することにより、直営での実施と比較し、従事者の確保経費の圧縮、迅速かつ効率的な収集による住民サービスに寄与している。			
②				
③				

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	現行法（廃掃法）上、一般廃棄物の処理は市町村の自治事務とされており、市町村以外のものに委託しても事業実施の主体はあくまでも市町村である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	収集に係る町民よりの苦情はなく、スムーズに業務が遂行されていると判断されるし、直営に比べ経費の圧縮につながっている。
有効／概ね有効／課題あり		

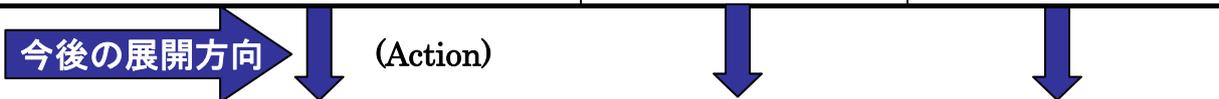
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	委託費の算定は、人件費は道労務単価を使用し、燃料費は町への納入単価を使用し、経費節減に努めている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
一般家庭から排出される、ごみの迅速かつ確かな収集による住民サービスの向上及びコストの削減を図るため、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



<b>継続/現状維持</b>		
今まで同様に、一般廃棄物収集運搬等業務を民間企業に委託する現状維持が適当である。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 4-11

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	容器包装廃棄物処理事業			
評価者	担当課・係名	住民生活課・環境衛生係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤 直人	氏名
				係長
				氏名
事業の概要	有償売却となっていない資源ごみ（びん・プラスチックごみ）を紋別市のリサイクルセンターに搬入し処理しており、これに係る施設運営・維持管理費を搬入市町村の人口割で負担している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	15	環境の保全	
	単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	一般廃棄物処理基本計画、容器包装リサイクル法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	6,225千円	6,125千円	6,159千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	5,364千円	4,671千円	3,759千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	市民が排出する資源ごみ	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	資源ごみの分別収集義務		総搬入量199.5t(18年度実績の5%減)、リサイクル率32.8%	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	ごみの減量化、リサイクル率の向上		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適切な収集及び処理。		①平成19年度総搬入量実績	目標年度 目標値 実績値 達成度
		②資源物の重量÷総廃棄物の重量 /リサイクル率	目標年度 目標値 実績値 達成度	19年度 32.8% 23.0% 70.1%
内 容 (どのような手段で何を行ったか)				
①紋別市リサイクルセンター施設運営・維持管理費の負担金	単独では、容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適切な処理が困難なため西紋5市町村で協定を締結し、紋別市のリサイクルセンターで処理している。			
②				
③				

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	資源ごみの適切な処理のため、単独で処理できない現状では負担金支出により処理すべきである。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	一般家庭・事業所から排出される資源ゴミについては、全て適正に処理している。
有効／概ね有効／課題あり		

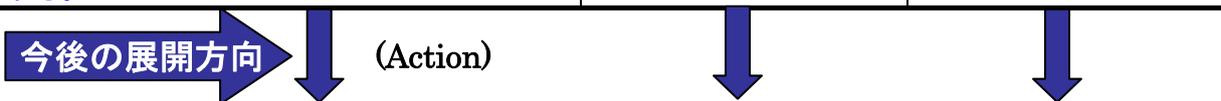
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>概ね効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	資源ゴミについては、適切に処理されているが各市町村の負担方式 (人口割り) については見直しが必要。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
資源ごみの一部は、有償売却により資源化回収業者に引き渡しているものの、引き取りされない物については、単独での処理が困難であるため、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



<b>継続／現状維持</b>		
資源廃棄物のうち、有償売却となっていない物の処理について、紋別市リサイクルセンターに搬入し、応分の処理負担金を支出する。当分は現状維持が適当である。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 4-12

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	廃木材等処理事業			
評価者	担当課・係名	住民生活課・環境衛生係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤 直人	氏名
				係長
				氏名
事業の概要	廃木材については、形成物のまま埋立処理するには、容量が多すぎるため、最終処分場の延命化を図る方策として破碎処理施設を有する雄武クリーンセンターに処理委託する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	15	環境の保全	
	単 位 施 策	4	ごみ・し尿処理の推進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	340千円	268千円	360千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	0千円	0千円	0千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民から排出される廃木材	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題や二一ズは】	最終処分場の延命化		廃木材の埋立回避								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	廃木材の埋立回避		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	新たな経費負担(廃棄物処分場の建設)が回避できる。		①最終処分場への廃木材の搬入量	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>0 t</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>0 t</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	0 t	実績値	0 t	達成度
目標年度	19年度										
目標値	0 t										
実績値	0 t										
達成度	100%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①廃木材処理委託	廃木材の処理を委託することにより、最終処分場への埋め立てを回避。										
②											
③											

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	事業の原資は、ごみ処理手数料であり、最終処分場の延命化のため必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	廃木材の最終処分場への埋め立てを回避している。
有効／概ね有効／課題あり		

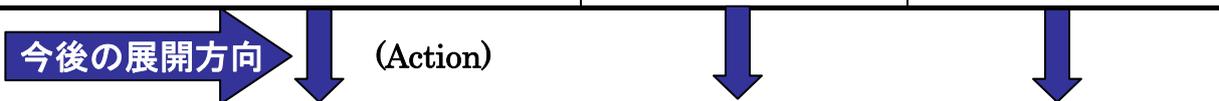
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	廃木材の処理委託料は、本町の事業系ごみ処理料金と同額程度であり、コストに見合った効果が得られている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
本事業は、焼却休止によりごみ全量を最終処分場へ埋め立て処理している中、1年でも長い延命化を図るための有効な手段であり、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



<b>継続/現状維持</b>		
廃木材については、形成物のまま埋立処理するには、容量が多すぎるため、最終処分場の延命化を図る方策として、現状維持が適当である。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 4-13

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	最終処分場整備事業			
評価者	担当課・係名	住民生活課・環境衛生係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤 直人	職名
				氏名
				係長
				氏名
				内藤 肇昭
事業の概要	最終処分場雨水呑口・排水路補修			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業
	政策目標			
	基本政策			
	単位施策			
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	千円	0千円	千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額 (一般財源)	千円	0千円	千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	最終処分場	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	現状では防火貯水池の本来の効果が期待できない。		適正な施設維持管理	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	適正な施設維持管理。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	雨水の適正流動及び防火貯水池の本来の機能を復元。		①	目標年度 年度 目標値 実績値 達成度 %
		②	目標年度 年度 目標値 実績値 達成度 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)				
①最終処分場補修改善	雨水呑口・排水路補修により雨水の適正流動及び防火貯水池の本来の機能が復元。			
②				
③				

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	緊急時に、防火貯水池が機能を果たさないと、適正な施設の維持管理ができないため、補修工事は必要であり、施設管理者の町が行うべきものである。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	雨水呑口・排水路補修により雨水の適正流動及び防火貯水池の本来の機能が復元された。
有効／概ね有効／課題あり		

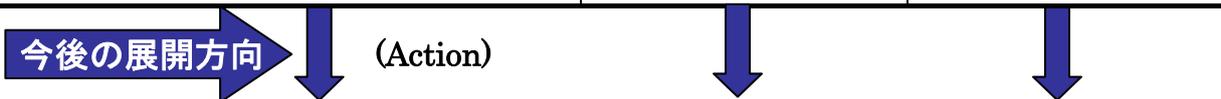
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	当初、予算を計上 (650千円) していたが、直営執行を行うことで、コストを掛けずに事業を実施した。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当     
  B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要     
  D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
緊急時に、防火貯水池が機能を果たさないと、適正な施設の維持管理ができないため、必要と判断する。		



<b>終了</b>		
当初の目的を達成したため。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
  終了     
  休止     
  廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 4-14

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	廃乾電池等処理委託事業			
評価者	担当課・係名	住民生活課・環境衛生係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤 直人	職名
				氏名
				係長
				氏名
				内藤 肇昭
事業の概要	廃乾電池・蛍光管の水銀等の有害物質を含んでいる廃棄物の処理委託			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業
	政策目標			
	基本政策			
	単位施策			
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	その他計画・根拠等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	0千円	459千円	0千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	0千円	459千円	0千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	水銀含有廃棄物	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	当町では適正処理することができない。		水銀含有廃棄物の引渡率	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	安全かつ適正に水銀含有物を処理する。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	住民サービスの向上及び環境保全		①水銀含有廃棄物として引渡率÷水銀含有廃棄物として収集した量 4,690 kg ÷ 4,690 kg	目標年度 19年度 目標値 100% 実績値 100% 達成度 100%
		②	目標年度 年度 目標値 実績値 達成度 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)				
①乾電池等の処理委託	民間の廃乾電池等リサイクル業者に、適正な処理を業務委託しました。			
②				
③				

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	現行法（廃掃法）上、一般廃棄物の処理は市町村の自治事務とされており、水銀含有物は環境へ及ぼす影響が大きいことから、安全かつ適正な処理を町が行うべきものである。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	収集したすべての水銀含有廃棄物を、安全かつ適正に処理することができた。
有効／概ね有効／課題あり		

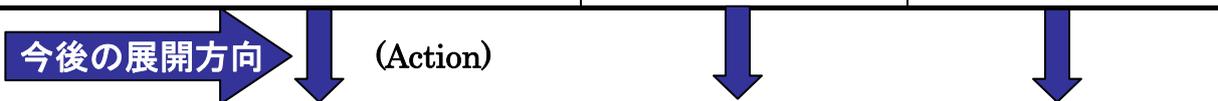
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>概ね効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	目標である収集したすべての水銀含有廃棄物を、安全かつ適正に処理することができたが、委託先については、道内唯一資格を持っている業者で、コストの削減は難しい。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

〔 A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要 〕

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>	<b>A</b>	
現行法（廃掃法）上、一般廃棄物の処理は市町村の自治事務とされており、水銀含有物は環境へ及ぼす影響が大きいことから、安全かつ適正な処理が必要で、本事業は適当と判断する。		



<b>継続／現状維持</b>	<b>継続／現状維持</b>	

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     終了     休止     廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 4-15

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	焼却場排水処理浄化槽改修			
評価者	担当課・係名	住民生活課・環境衛生係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤 直人	氏名
				係長
				内藤 肇昭
事業の概要	焼却場の排水処理浄化槽を処理人槽の大きい設備（50人槽）に改修。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業
	政策目標			
	基本政策			
	単 位 施 策			
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総 事 業 費	0千円	449千円	0千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	0千円	449千円	0千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	焼却場	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	適切な放流水が維持できない(環境保全)。		適切な施設維持管理		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	適切な施設維持管理。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	焼却場から発生する排水の適正な放流。		①	目標年度	年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
① 焼却場排水処理浄化槽改修	現状では、焼却場内から発生する排水の汚水処理能力が不足なため、処理人槽の大きい設備に改修。				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	本事業の実施により、焼却場からの排水水質の適正管理、放流が可能となり、環境保全に資するものであるため、施設管理者の町が行うべきものである。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	処理人槽の大きい汚水処理施設に改修したことにより、焼却場からの排水の適正放流ができています。
有効／概ね有効／課題あり		

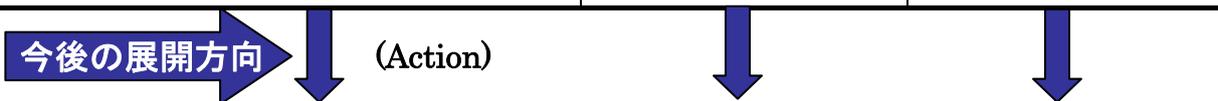
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	改修した浄化槽については、建設水道課保管の活用予定のない物を流用し、コスト削減に努めた。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
環境保全のため、焼却場からの排水水質の適正管理、放流は必要であり、本事業は適当と判断する。		



<b>終了</b>		
当初の目的を達成したため。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 4-16

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	西紋別地区環境衛生施設運営事業			
評価者	担当課・係名	住民生活課・環境衛生係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤 直人	氏名
				係長
				氏名
事業の概要	町単独での処理が困難な、し尿処理を広域的（西紋別地区）に実施し、各市町村（5市町村）が応分の組合運営分担金を支出する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	15	環境の保全	
	単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	一般廃棄物処理基本計画、廃棄物処理法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	28,695千円	29,584千円	30,074千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	28,695千円	29,584千円	30,074千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	町内で発生するし尿の適正処理。		施設の安定運営		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	し尿処理施設の安定運営。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町内で発生するし尿が適切に処理される。		①	目標年度	年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①組合運営分担金の支出	一部事務組合にて広域し尿処理を行っており、応分の組合運営分担金を支出。				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	町単独でのし尿処理は困難なため、一部事務組合の広域的な処理は必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	町内で発生するし尿は、すべて適切に処理されている。
有効／概ね有効／課題あり		

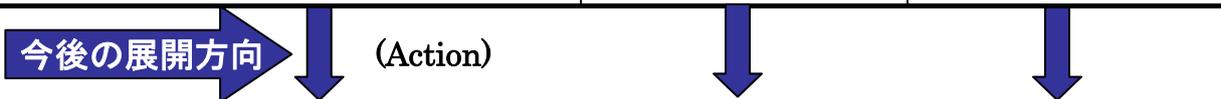
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	町単独で行うより、広域的に処理することにより、コストの削減が図られている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>	<b>A</b>	
町内で発生するし尿の適正処理は必要であり、町単独での処理が困難なことから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



<b>継続／現状維持</b>	<b>継続／現状維持</b>	
町単独での処理が困難な、し尿処理を広域的に実施することは、町民の快適で清潔な生活環境を創造するため、現状維持が適当である。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
  終了     
  休止     
  廃止

### 5 その他特記事項